

第1回 今治市合同庁舎整備 検討審議会 (議事資料)

令和8(2026)年9月4日(金) 午後2時～4時
場所：今治市役所第1別館3階 第2委員会室

議事次第

- (1) これまでの検討経緯（現庁舎の現状と課題）
- (2) 基本計画の策定体制について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) 基本理念・基本方針（案）について
- (5) 第2回検討審議会の議題について

(1) これまでの検討経緯 (現庁舎の現状と課題)

(1) これまでの検討経緯

平成30 (2018)年	1月	今治市本庁舎耐震化構想策定業務 →本館及び第1別館の耐震診断の実施、耐震補強計画案の作成及び概算工事費の算定を行った。
	2月	今治市本庁舎耐震化構想策定業務に伴う地質調査業務 →耐震化構想策定に伴い、ボーリング調査（1箇所）を実施
平成31 (2019)年	3月	今治市本庁舎整備計画策定業務 →今治市本庁舎が大地震に対しても、庁舎機能（防災拠点施設としての機能）を継続維持できるように、本庁舎の整備計画を策定
令和元年 (2019)年	11月	今治市本庁舎整備計画に伴う地質調査業務 →機械ボーリング、標準貫入試験及び土質試験、液状化の検討を行った。
令和3 (2021)年	3月	今治市本庁舎整備基本計画（案） →耐震改修を前提とした本庁舎の耐震補強・改修計画、仮設・移転計画、概算事業費、整備スケジュールなどを策定
令和5 (2023)年	3月	今治市中心市街地まちづくり構想策定 →中心市街地のエリアごとの課題や意向を踏まえた将来像を表現した『デザインノート』を作成し、それを基に将来ビジョン（案）を作成
令和5 (2023)年	8月	今治市中心市街地グランドデザイン策定に向けた体制構築 →今治市中心市街地創生デザイン会議と中心市街地創生連携協議会（公共施設等再編部会及び公共空間再編部会）とが連携し、中心市街地の活性化や都市デザインに関する事項の検討を開始
令和7 (2025)年	6月	今治市中心市街地グランドデザイン策定 →まちづくりの方向性や将来ビジョンを実現するための施策と手法を具体的に示した中期的な計画である「今治市中心市街地グランドデザイン」を策定
令和7 (2025)年	10月	「愛媛県・今治市 複合庁舎整備に関する基本協定」を締結 →今治市本庁舎及び愛媛県東予地方局今治支局庁舎の老朽化及び耐震性不足に対応するとともに、中心市街地におけるシビックゾーンの再編を推進するため、両者の庁舎を一体的に整備する基本協定を締結

① 現庁舎の敷地内での検討

② まちづくり視点で
庁舎の位置づけ

(1) これまでの検討経緯

①現庁舎敷地内での検討

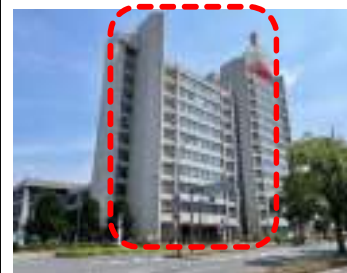
現状

現庁舎の状況



第2別館

建築年	H6	経過 年数	32年
耐震 基準	新	耐震性	あり
階数	地上13階地下1階		
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造		
延床 面積	7,150.93㎡		



第1別館

建築年	S47	経過 年数	54年
耐震 基準	旧	耐震性	なし
階数	地上10階		
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造		
延床 面積	5,157.83㎡		



第3別館

建築年	S55	経過 年数	46年
耐震 基準	旧	耐震性	あり
階数	地上3階		
構造	鉄筋コンクリート造		
延床 面積	2,479.65㎡		



附属棟

建築年	H5	経過 年数	32年
耐震 基準	新	耐震性	あり
階数	地上3階		
構造	鉄筋コンクリート造		
延床 面積	1,149.07㎡		



本館

建築年	S33	経過 年数	68年
耐震 基準	旧	耐震性	なし
階数	地上3階		
構造	鉄筋コンクリート造		
延床 面積	4,178.77㎡		

(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

現状

現支局庁舎の状況

		愛媛県東予地方局 今治支局	
建築年	S44	経過 年数	57年
耐震 基準	旧	耐震性	なし
階数	地上4階		
構造	鉄筋コンクリート造		
延床 面積	3,449.5 m ²		
部局名	課室名		
今治支局	- 総務県民室 (総務県民・防災対策G、しまなみサイクリングG等) - 税務室		
地域産業振興部	商工観光室		
健康福祉環境部 (今治保健所)	- 企画課 - 健康増進課 - 生活衛生課 - 環境保全課		
農林水産振興部	- 地域農業育成室 - 産地戦略推進室 - 農村整備課 - 森林林業課 - 水産課		
建設部 (今治土木事務所)	- 管理課 - 用地課 - 建設企画課 - 河川港湾課 - 道路課		
出納局	本庁工事検査室今治駐在		



(1) これまでの検討経緯

①現敷地内での検討

課題

本館・第1別館は旧耐震基準のため、耐震補強が必要
(さらに平成29年耐震診断で耐震性不足が判明)

■現庁舎の状況

本庁舎 施設名称	建築年	経過 年数	耐震基準	耐震 性	構造	階数	延床面積 (㎡)
本館	昭和33年	68年	旧耐震基準	なし	RC造	地上3階	4,178.77
第1別館	昭和47年	54年	旧耐震基準	なし	SRC造	地上10階	5,157.83
第2別館	平成6年	32年	新耐震基準	あり	SRC造	地上13階 地下1階	7,150.93
第3別館	昭和55年	46年	旧耐震基準	あり	RC造	地上3階	2,479.65
付属棟	平成5年	32年	新耐震基準	あり	RC造	地上3階	1,149.07



〈本館〉



〈第1別館〉



〈第2別館〉



〈第3別館〉



〈付属棟〉

課題

耐震補強以外に、庁舎全体で多くの課題がある

老朽化に加え、社会環境や行政需要の変化、人口減少・財政制約などへの対応が求められる中、**柔軟で機能的な行政拠点を確保することは困難**であると整理されました。

■ 耐震性以外の複合的課題

建物・設備の老朽化	・ 築年数が長い ・ 応急修繕を繰り返している ・ 各種設備の劣化が進行 ・ 抜本的な改修が必要
バリアフリー機能の不足	・ 多目的トイレ不足 ・ 案内表示が分かりにくい ・ 移動空間が狭い ・ 利用者への配慮が不足
既存不適格	・ 現行法に不適合な部分 ・ 防火区画等が不足 ・ 排煙・遮煙性能が不足 ・ 安全装置が未対応
将来を想定したICT対応	・ 通信設備が旧式 ・ 電源容量が不足 ・ 配線変更が困難 ・ 災害時対応に課題
環境性能に課題	・ 断熱性能が不足 ・ 設備効率が低い ・ 光熱水費が増加 ・ 脱炭素化への対応が困難
大規模災害に対する備え	・ 耐震性が不足 ・ 建物安全性に課題 ・ 機能継続が困難 ・ 防災設備の強化が必要

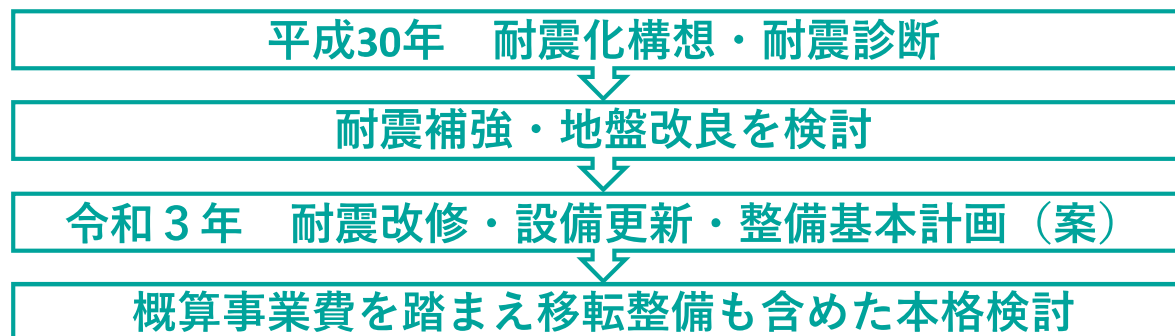
(1) これまでの検討経緯

①現敷地内での検討

検討の経緯

耐震補強を前提に検討を進めた結果

■ 耐震補強を前提の検討



■ 多くの課題が顕在化

安全性の確保	利用者の利便性	交流・地域活性化	環境
耐震化（地盤改良を含めた抜本的な対策）	窓口機能の集約、ユニバーサルデザインへの対応	まちなかとの連携強化、開かれた庁舎づくり	ZEB化や省エネルギー設備の導入、再生可能エネルギーの活用
ランニングコスト	防災・危機管理	行政効率化	将来対応力
将来の大規模改修費や維持管理費を踏まえ長期的な財政負担の軽減を図る	非常用電源・備蓄倉庫の整備、災害対策本部機能の強化	執務空間の集約・最適化、デジタル化対応	可変性の高い空間構成、増改築や用途変更への対応、設備更新の容易化

**【結論】 耐震補強だけでは持続可能な行政拠点の実現は困難。
多面的な課題への対応が求められている！**

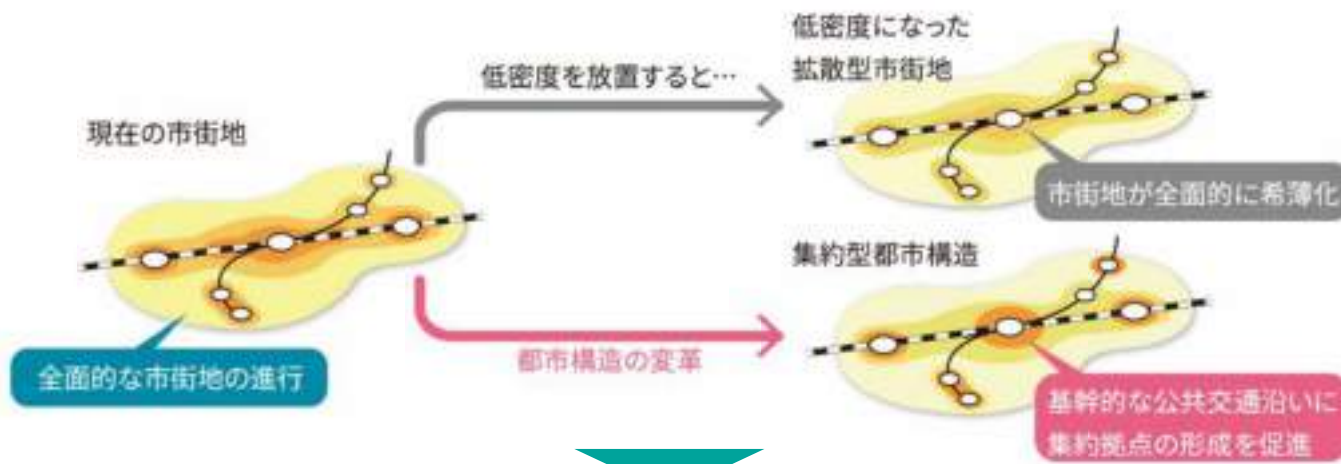
(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

検討の経緯

今治市中心市街地グランドデザインについて

まちの活力を未来へつなぐ「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり



「これからのまちのかたち」を、みんなで描き、ともに進める

関係者ヒアリング 他

(令和4年度)

- 地域で活動されている方々とまちの将来像に関する議論をスタート



協議会（デザイン会議・部会）

(令和5~6年度)

- 計画策定に向けた体制構築



まちづくり市民会議（エリア別・中心市街地全体）

(令和6年度)

- エリア別：エリアごとの議論を深度化



- 中心市街地全体：計画内容を広く市民と共有、意見交換



(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

中心市街地まちづくりのコンセプト／つながる みなと・まち・いまばり
／Walkable Port City IMABARI



将来ビジョン（案）

(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

中心市街地まちづくりのコンセプト／つながる みなと・まち・いまばり
／Walkable Port City IMABARI

シビックゾーン

官公庁施設の再編を、
にぎわいと歩行空間の充実につなげる重点エリアとして検討



■ 将来ビジョン（案）

(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

検討の経緯

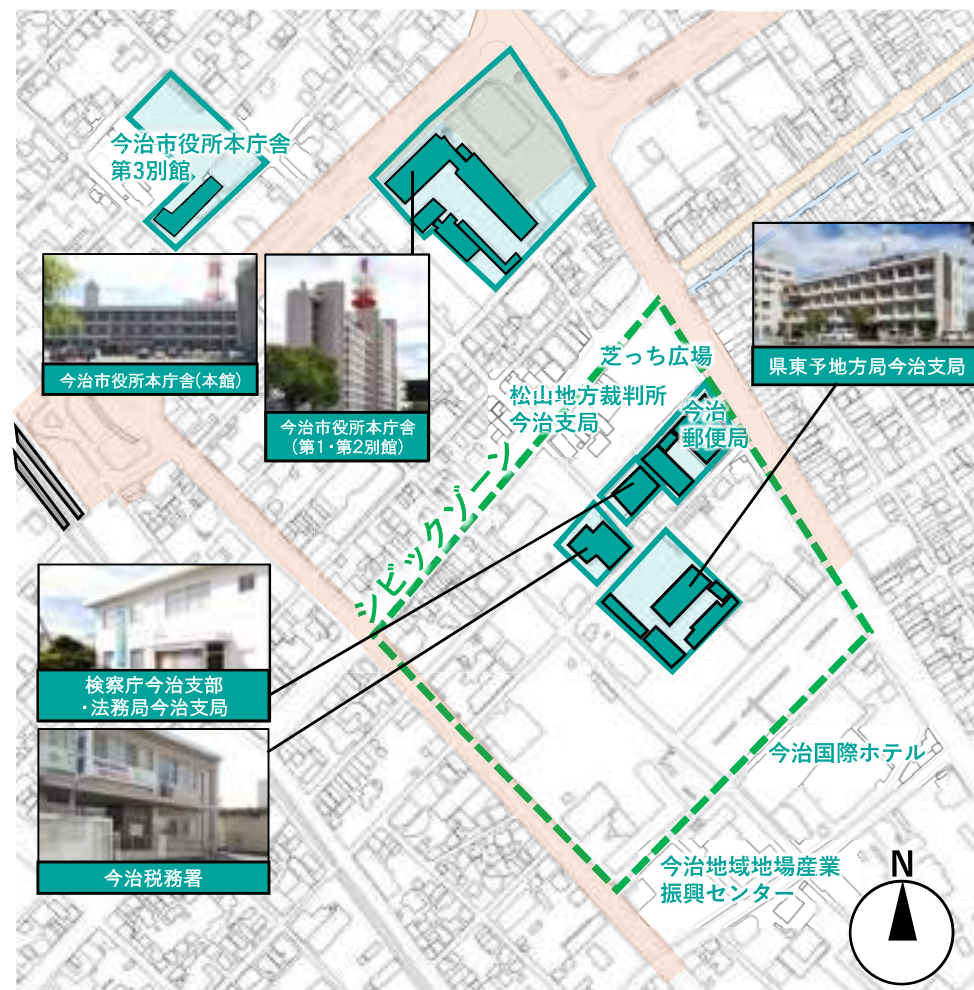
グランドデザインにおける合同庁舎の検討について

■検討の趣旨

- 令和3年度以降、中心市街地の活性化に寄与する都市デザインの一環として、長期的視点に立った庁舎建設のあり方を検討するため、シビックゾーンへの移転建替を含めた検討に移行
- シビックゾーン内には、県東予地方局今治支局をはじめとする他の官公庁施設も多数存在しており、これらも早期の安全確保と機能改善等の課題を抱えている
- そのため、令和5年度以降は、これらの施設を含む公共施設の再編・再配置を視野に入れた複合庁舎の整備検討を行うこととなった

検討対象施設

- 今治市役所
(検討条件)本館、第1～第3別館及び附属棟にある機能を新庁舎に集約
- 愛媛県東予地方局今治支局
- 松山地方検察庁今治支部
- 松山地方方法務局今治支局
- 今治税務署
- 今治郵便局



(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

検討の経緯 グランドデザインにおける合同庁舎の検討について

■施設再編パターンの比較検討

段階 1 : 3つの候補地を選定

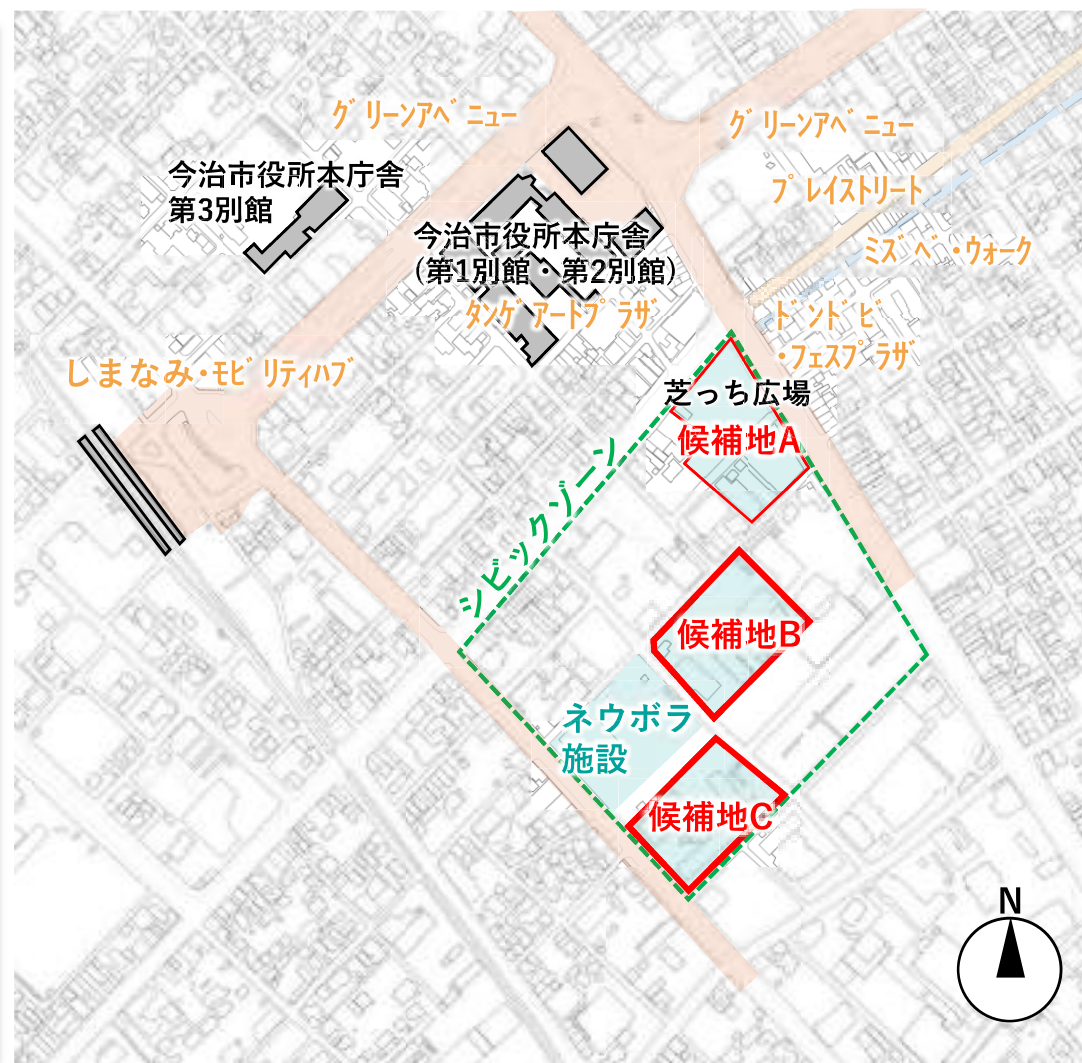
段階 2 : 施設再編パターンを比較

・地域活性化、必要な庁舎性能の確保、将来的な財政負担の軽減を考慮すると、築60年以上の現市役所本庁舎を耐震改修して使い続けるよりも、庁舎機能の集約・複合化を進めることが望ましい。

・ウォーカブルなまちづくりに寄与することを考慮し、芝っち広場を活用しつつ、シビックゾーン内で新たに人の流れや滞留を生み出す**候補地B**または**C**が望ましい

段階 3 : 関係機関の意向確認

▶国の機関や郵便局については、全国的な老朽施設の更新状況等を踏まえ、**今治市**における建替え等への参画は困難との見解が示された。



検討の経緯

グランドデザインにおける合同庁舎の検討について

■最適案の選定

2025年6月に策定された今治市中心市街地グランドデザインにより、施設再編パターンの比較検討が行われ、
その中で、候補地B「愛媛県東予地方局今治支局及び河野美術館敷地」を最適案として選定し、市と県の協力のもと庁舎複合化を基本方針として検討を進めました。

設定理由

まちづくり

● ウォーカブルなまちづくりへの貢献

芝っち広場、JR今治駅からの人の流れをゾーン内に呼び込み、旧城下町方面へ広げる拠点を形成

● 周辺の地域活力を向上する施設との空間的な連携によるエリアの拠点性の向上

今治版ネウボラ拠点施設や、官民連携による旧日吉小学校跡地活用との一体的な都市機能の向上

行政集約 【県市合同庁舎】

● 市と県の共同化による相乗効果の発現

市と県の共通課題の解決（施設老朽化の改善等）に寄与、庁舎複合化による公益的メリットの発生

(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

検討の経緯

公共施設全体を見据えた県・市合同庁舎へ

公共施設全体を見据えた検討

- ・市庁舎、愛媛県東予地方局ともに老朽化
- ・中心市街地グランドデザインと連携
- ・シビックゾーン全体の再編

県・市合同庁舎

期待される効果

- ・行政機能の集約・ワンストップサービス
- ・防災拠点機能の強化
- ・長期的な財政負担軽減
- ・ウォーカブルなまちづくりと賑わい創出



〈愛媛県東予地方局今治支局〉

建築年：	昭和44年
経過年数：	57年
耐震基準：	旧耐震基準
耐震性：	なし
構造：	RC造
階数：	地上4階
延床面積(㎡)：	3,449.50

公共施設再編・行政サービス向上・まちづくりを一体的に実現

検討の経緯

県・市合同庁舎集約化の内容を検討

愛媛県・今治市 複合庁舎整備に関する基本協定（令和7年10月締結）に基づき、今治市本庁舎と愛媛県東予地方局今治支局庁舎の機能の集約化を検討します。時期、手法については今後の検討とします。

●前提

→**現今治支局庁舎・河野美術館の敷地に建設＋県は新たな市庁舎の一部を借り受ける**

●土地の所有及び取扱いについて

→**市が県から適正な価格で取得**

●建物の所有及び取扱いについて

→**市が設計施工の主体となって整備**

●費用負担について

→**整備費用は原則、面積按分＋支局の賃料は無償**

(1) これまでの検討経緯

②まちづくりの視点から検討

建設予定地

建設予定地及び周辺整備の状況（航空写真）

ネウボラ拠点施設

妊娠・出産から子育てまで切れ目なく支援し、親子の交流と相談を支える総合的な子育て支援拠点となる施設

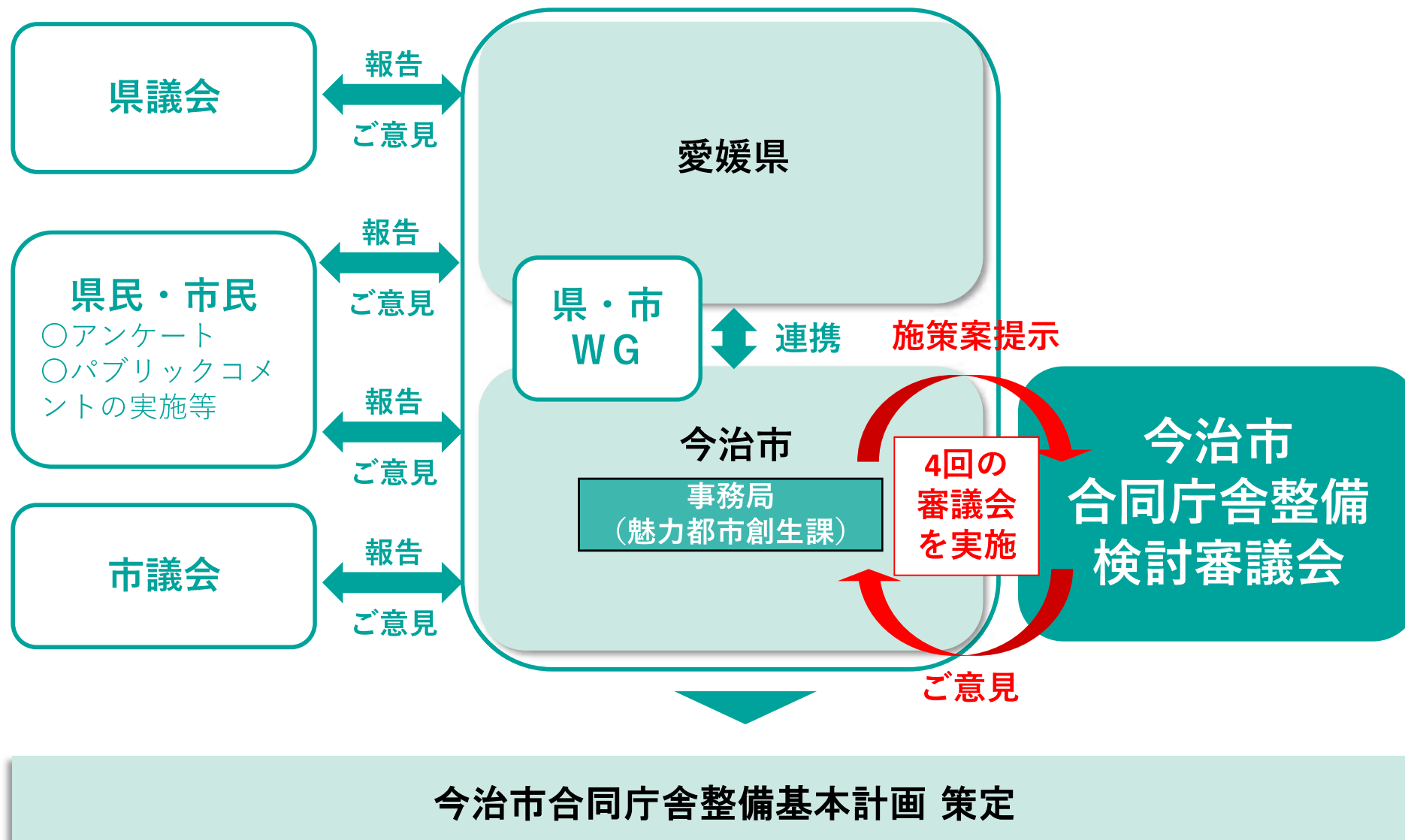
MICE施設

会議・展示会・大規模イベントを開催できる、国際海事都市今治の象徴となる交流拠点



(2) 基本計画の策定体制について

(2) 基本計画の策定体制について



(3) 今後のスケジュール確認

(3) 今後のスケジュール確認

基本計画 策定工程	令和8年度									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
検討審議会				9月4日 ● 第1回		上旬 ● 第2回	下旬 ● 第3回		中旬 ● 第4回	
フェーズ				WG	WG		WG		合意・承認期間 庁内各関係機関	
				「これまでの検討経緯」 「基本理念・基本方針について」 「今後のスケジュールの確認」						
	計画策定準備・条件整理			導入機能・性能・ 庁舎規模の検討						
		コンセプト等 の整理		施設計画の検討						

計画策定準備・条件整理・
コンセプト（基本理念・基本方針）の整理：6月上旬～8月下旬



第1回検討審議会：9月4日(金)

(3) 今後のスケジュール確認

基本計画 策定工程	令和8年度									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
検討審議会				9月4日 ● 第1回		上旬 ● 第2回	下旬 ● 第3回		中旬 ● 第4回	
フェーズ				WG	WG		WG		合意・承認期間 庁内各関係機関	
										</

導入機能・性能・
庁舎規模の整理：8月下旬～11月上旬



第2回検討審議会：11月上旬予定

(3) 今後のスケジュール確認

基本計画 策定工程	令和8年度									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
検討審議会				9月4日 ● 第1回		上旬 ● 第2回	下旬 ● 第3回		中旬 ● 第4回	
フェーズ				WG	WG		WG		合意・承認期間 庁内各関係機関	
	計画策定準備・条件整理			導入機能・性能・ 庁舎規模の検討			「市民・職員アンケート反映」 「施設計画案について」			
		コンセプト等 の整理		第3回 施設計画の検討						

施設計画の検討：9月上旬～1月下旬



第3回検討審議会：12月下旬予定

(3) 今後のスケジュール確認

基本計画 策定工程	令和8年度									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
検討審議会				9月4日 ● 第1回		上旬 ● 第2回	下旬 ● 第3回		中旬 ● 第4回	
フェーズ				WG	WG		WG			
	計画策定準備・条件整理			導入機能・性能・ 庁舎規模の検討			「基本計画案について」 第4回			
		コンセプト等 の整理		施設計画の検討						

まとめ：6月上旬～1月下旬



第4回検討審議会：2月中旬予定



令和9年度 パブリックコメントの実施 → 答申